

集中豪雨が起きると、短時間に狭い地域に大量の雨が降ります。突発的に降ることが多いことから予測が難しく、河川のはんらんや山間地・造成地の土砂崩れ、都市部の道路冠水などの災害を招く恐れがあります。日ごろから備えを十分にしておき、被害を防ぎましょう。

バケツをひっくり返したように降る集中豪雨

集中豪雨は、梅雨前線の活発化や台風の影響などで、一時間の雨量が数十ミリに及ぶ強い雨が狭い地域に集中して降る現象です。土砂降りというより、バケツをひっくり返した

ような「とが、」滝のような」と言われるほどの降り方で、昼夜の区別なく突発的に起きます。特に夜間に起きる場合は状況の把握が難しく、注意が必要です。

都市型 水害

道路が川に、 地下への浸水も

集中豪雨は都市部にもさまざまな災害をもたらします。いわゆる都市型水害というもので、近年の都市構造が原因で起きる水害です。都市部では、地面のほとんどがアスファルトやコンクリートで覆われているため、集中豪雨があると、雨の大半が側溝や下水道などに集中します。そのため、側溝や下水道の処理

能力を超えた水があふれ、道路が川のようになったりします。普段は何でもない側溝の位置が分からなくなったり、水流が速くなつて足をとられたりするなど、非常に危険です。冠水した道路は、徒歩でも車でも通れないようにしましょう。また、地下室などへの水の流れ込みに注意しましょう。

土砂崩れや

道路冠水に

要注意!!

